

# 美術授業用画像加工アプリ

## Collage

写真合成・切り抜き

画像を重ねる、文字を入れる、切り抜いた素材を配置するなど、コラージュ作品やポスター等の制作に活用できます。

まずはこの順番

- 1 背景
- 2 素材追加
- 3 レイヤー調整
- 4 保存

## レイヤーの基本

- 左のレイヤー一覧は、**上が前面、下が背面**です。
- レイヤーの枠をクリックすると、その素材を編集対象にできます。
- 表示/非表示、複製、左右反転、ロック、削除は左パネルから操作します。
- ロック中のレイヤーは、間違っ**て**動かしたくない時に使います。

## 配置を整える

- 右パネルの **整列** で、選択した素材を左・中央・右・上・下にそろえられます。
- 素材の位置がずれた時は **中央へ** を使うと、見つけやすい位置に戻せます。
- 拡大しすぎた時は **拡大 100%**、傾いた時は **回転 0°** を使います。

## 文字・吹き出し・図形

- 左上の「追加ツール」で、文字・吹き出し・ラベル・四角・円・線を追加できます。
- 選択すると、右パネルで文字内容、色、書体、影、縁取りを調整できます。
- 影や縁取りを付けすぎた時は **効果リセット** を使います。

## 切り抜き

- 上部の **切り抜き** から、人物や物だけを切り抜いて素材として追加できます。
- 自動切り抜き後は、**残すブラシ**・**消すブラシ**で細かく修正できます。
- Shift キーを押しながらドラッグすると、**ブラシ**で直線修正できます。

## 保存の違い

- **PNG 保存 / JPG 保存**：完成画像として保存します。レイヤー編集はできません。
- **作業保存(JSON)**：レイヤーを含めて保存します。次回も編集できます。
- **一時保存**：この端末のブラウザ内に保存します。Render には保存しません。

## 困った時

- 素材が動かない時：ロック中でないか確認します。
- 素材が見えない時：非表示になっていないか、背面に隠れていないか確認します。
- 何を選んだか分からない時：左のレイヤー一覧で枠をクリックして選び直します。
- 変になった時：まず「戻す」、それでも分かりにくければ「まとめて初期化」を使います。



図は背景画像を入れたところ（上） さらに切り取りした素材画像を複写して配置したもの（下）

